

平成29年度 第8回 SUMS グランド・ラウンド

目的：SUMS グランド・ラウンドは、研究者による研究成果発表及び当該分野における最新の研究動向を発表する場として活用し、研究者間で情報共有及び相互理解を深め、新たな研究領域の展開に繋げるとともに、人材育成に資することを目的として実施する。



日時：12月25日（月）
17：00～19：00
場所：臨床講義室 2

発表：重点研究領域発表会

サル研究

- ①動物生命科学研究センター・教授 依馬 正次
「本学におけるトランスジェニックカニクイザル作製技術の現況」
- ②動物生命科学研究センター・助教 築山 智之
「CRISPR/Cas9を用いた疾患モデルカニクイザルの作出」

神経難病

- ③神経難病研究センター 神経診断治療学・
准教授 柳沢 大治郎
「Shiga-XおよびShiga-Yによるアルツハイマー病のMR画像診断法」
- ④神経難病研究センター 分子神経病理学・
教授 西村 正樹
「アルツハイマー病リスク因子の同定と先制医療」
- ⑤神経難病研究センター 神経内科学・
特別研究学生 引網 亮太
統合臓器生理学・特任助教 守村 直子
「ALSモデルサル作製の試み」

がん

- ⑥疾患制御病理学・講師(学内) 石垣 宏仁
「MHCホモサル由来のがん細胞株の樹立とMHC一致サルへのがん細胞移植」
- ⑦分子生理化学・教授 縣 保年
「がんモデルザルの作出とiPS細胞由来T細胞によるがん免疫療法の開発」

生活習慣病

- ⑧分子病態生化学・准教授 佐藤 朗
「霊長類動脈硬化モデルの確立を目的とした低密度リポタンパク質受容体（LDLR）遺伝子欠損カニクイザルの作製」
- ⑨脳神経外科・医員 辻 敬一
「滋賀医大生活習慣病プロジェクトにおける霊長類脳動脈瘤モデル確立の試み」
- ⑩再生・修復医学・教授 小島 秀人
「糖尿病と合併症研究のためのモデル動物の作成について」



第9回開催予定：平成30年1月22日（月）17：00～18：30